

令和8(2026)年度 お参り 年間計画

三綱領 じしんふせつ
 (年間): 「慈心不殺」 明るく (生命尊重の保育を行なおう)
 ぶつどうじょうじゅ
 「佛道成就」 正しく (正しきを見て絶えず進む保育を行なおう)
 しょうぎょうしょうじん
 「正業精進」 仲よく (よき社会人をつくる保育を行なおう)

月	日	曜	名称	内容	ねらい	身につけさせたい力	徳目
4	8	水	花祭り	お釈迦さまの誕生日を祝う	お釈迦様の誕生日が4月8日ということを知る。 この日になぜ「甘茶」を飲むのかを知る。	お釈迦様→仏教→寺→園。「花祭り」は園のおおもとの誕生日であることを学ぶ。 佛教に親しみ、甘茶の作法を学ぶ。	「合掌聞法」 手を合わせて感謝し、お話をよく聞こう
5	21	木	降誕会	親鸞さまの誕生日を祝う	親鸞様の誕生日を知り、親鸞様のおかげでこうして私たちが合えたことに感謝する。	親鸞さまがどのような方であるか知り、親しみを持つ。親鸞さまの寛容な思想に学び、お互い仲よく園生活を過ごす。	「持戒和合」 決まりを守り、集団生活を楽しまう
6	1	月	創立記念日	創立者に感謝し、記念する。	創立者の松岡義雄・きく夫妻に感謝する。 應善寺本堂でお参りを行うことで園と寺の関係の深さを知る機会とする。	保育園の誕生を知り、自分が通う和光保育園をもっと好きになる。 園を作ってくれた創設者や地域の方々の気持ちに感謝し、楽しい保育園生活を送れるようにする。	「生命尊重」 生き物を大切にしよう
7	13	月	お盆(盂蘭盆会)	仏さまと皆さまのお蔭に感謝する	仏さまや皆様のおかげに感謝する。	人は一人では生きていけないことを知り、他の人からの援助の力を知り、感謝する 気持ちを身につける。	「布施奉仕」 誰にでも親切にしよう
8	6	金	平和の日	平和な社会を保つよう努める。	8月15日が終戦の日であることを知る。 平和の大切さとそれを継続することの大切さを知る。	当たり前に生活することが平和であることを理解する。 一つしかない命を大切にする。 そのために自分も友達も大切にする。	「自利利他」 人のためにも自分のためにもなることをしよう
9	24	木	お彼岸	仏さまと先人のお蔭に感謝する(本来 9/20～26。「秋分の日」9/23)	秋分と秋のお彼岸を知る。 先人のおかげに感謝する。 佛教に親しむ。 作法、礼儀を学ぶ。	昼と夜の長さが同じになり、お日さまが真西に沈み、夕空が美しいこの季節に、お釈迦さま・親鸞さま・先祖・故人を偲び、感謝し、今いる自分がいかに生きていくかを考え、行う。	「報恩感謝」 社会や自然の恵みに感謝しよう
10	15	木	助け合いの日	お互いさま、お陰さま、有難うを学ぶ	助け合いの日にちなみ、「同事協力。お互い様、お蔭様、有難う」を学ぶ。	日々の生活の中で、「お互い様」「おかげ様」「ありがとう」が自然と思えるようになり、態度に表すことができるようになる。	「同事協力」 お互いに助け合おう
11	5	木	報恩講	親鸞さま命日(本来 11/28)	親鸞様の命日「報恩講」を知る。 親鸞様のご恩に感謝する。	親鸞様→浄土真宗→應善寺→和光保育園。親鸞様のおかげで私たちは出会うことができたことを知る。 私たちはいろいろな恵みのおかげで生きていることを知る。	「精進努力」 最後までやり遂げよう
12	8	火	成道会	お釈迦さまのお悟り	成道会が何の日(お釈迦様のお悟りの日)であることを知る。	お釈迦様→悟り→寺→園。そのおかげで私たちの園もあることを知らせる。	「忍辱持久」 つらい時が来ても、逃げることなく受け止めていこう
1	4	月	新年のお参り	お正月を共に迎えられたことを喜ぶ	お世話になった方々に感謝し、今年もよろしく願います。という気持ちをもたせる。	「和顔愛語」を意識し、笑顔と優しい言葉、お蔭様の気持ちをもてるようにする。	「和顔愛語」 明るい笑顔と優しい言葉で人に接しよう
2	15	月	涅槃会 ※應善寺本堂	お釈迦さまのご入滅	お釈迦様の亡くなった日を知る。 卒園式前に應善寺本堂の雰囲気を知り、場に慣れる。	お釈迦様は亡くなったが、その教えは残り、そのおかげでこの園もあり私たちは出会えたことを知る。 すみれ組は、卒園式会場の雰囲気に慣れる。	「禅定静寂」 よく考え、落ち着いた暮らしをしよう
3	18	木	お彼岸	仏さまと先人のお蔭に感謝する(本来 3/17～23。「春分の日」3/20)	春分と春のお彼岸を知る。 故人、先祖、お世話になった人々をしのび、感謝する。	昼と夜の長さが同じになり、お日さまが真西に沈み、夕空が美しいこの季節に、お釈迦さま・親鸞さま・先祖・故人を偲び、感謝し、今いる自分がいかに生きていくかを考え、行う。	「智慧希望」 賢さをもって、希望に満ちた未来を開こう
年間			毎月		「ねらい」: お釈迦さまや親鸞さま等のお話を聞くことによって、お釈迦さま・親鸞さま他の先人たちに親しみを持ち、仏教諸行事を学ぶ。	「身につけさせたい力」: 公立学校には無い宗教行事のおごそかな雰囲気の中で、感謝の気持ち・謙虚さ・仲間意識を育み、合掌・念仏・礼拝・焼香等の作法を学ぶ。	

